

第 8 回中部 MIST 研究会 プログラム



会 期:2017(平成 29)年 9 月 2 日(土)13:30~17:10
(受付:13:00~開始)

会 場:ハピリンホール

〒910-0006 福井県福井市中央 1 丁目 2-1 3F

参加費:医師 2,000 円 コメディカル 1,000 円

主 催:中部 MIST 研究会

日整会単位取得予定の先生は、日整会会員 IC カードをお持ちください

参加者のみなさまへ

- 受付にてお名前、ご所属先を芳名帳にご記入のうえ、参加費（医師：2,000 円、コメディカル：1,000 円）をお支払いください。
- 日整会教育研修単位をご希望の方は、1,000 円をお支払いください。
- 日本 MIST 研究会の入会も受け付けております。入会ご希望の方は、所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、受付にご提出ください。後日事務局より登録完了のメールを送信いたします。

申込書ご提出から 1 週間経過しても登録完了メールが届かない場合には、事務局

（TEL：052-751-8197 E-mail：mist_central@hachiya.or.jp）までご連絡ください。

発表規定

- 今回の発表は PC によるプレゼンテーションのみといたします。その他スライド、ビデオ等は使用できません。スクリーンは 1 面です。
- 発表用 PC は Office2010 をご用意いたします。
- メディアにて発表データをご準備いただく場合、メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、ウイルス駆除ソフトにてチェックしたものをご準備くださいますようお願いいたします。
- 発表データに動画・音声ファイルがある場合、また Macintosh をご使用の場合には、ご自身の PC をご使用ください。Macintosh 等、プロジェクタとの接続にディスプレイアダプタを必要とする PC をご使用の場合は、必ずディスプレイアダプタをお持ちください。
- 1 名に優秀演題賞を授与いたします。
- 演題発表時間は、特別講演50分+質疑応答10分・一般演題セッション5分+質疑応答3分です。
- 一般演題は終了時刻 1 分前にベルが 1 回、終了時刻ちょうどにベルが 2 回鳴ります。セミナーの円滑な進行の為、ご発表は時間厳守にてお願いいたします。

プログラム

13:30

開会のご挨拶・写真撮影

水野 勝則

13:40～14:20

一般演題 A

座長

関 庄二

A-1. 後方経路椎体間固定におけるブーメラン型ケージ 2 個設置の試み

北須磨病院 整形外科 中原 誠之(なかはら まさゆき)他

A-2. 腰椎固定術後に脊柱変形が増悪し前後同時矯正固定術を施行した 1 例

富山大学附属病院 整形外科 小林 賢司(こばやし けんじ)他

A-3. 術中一瞬で椎弓根スクリュー内側逸脱を見抜くレントゲン正面像の M Line

愛知医科大学脳神経外科 前嶋 竜八(まえじま りゅうや)他

A-4. 経皮的椎弓根スクリュー(PPS)刺入時における逸脱例の検討

高岡市民病院 整形外科 田村 嵩(たむら たかし)他

A-5. LIF 後方固定としての CBT 法の短期治療成績

名古屋市立大学 整形外科 大塚 聖視(おおつか せいじ)他

14:20～14:55

一般演題 B

座長

出村 諭

B-1. 頸椎片側椎間関節脱臼に対し経皮的整復を行った 1 例

金沢大学 整形外科 清水 貴樹(しみず たかき)他

B-2. 脊椎椎体骨折に対して monoaxial PPS system を用いて矯正固定術を施行した 1 例

市立砺波総合病院 整形外科 林 寛之(はやし ひろゆき)他

B-3. 高エネルギー外傷に伴う胸腰椎椎体骨折に対する MIST による後方固定術の手術時期に関する検討

富山県立中央病院 整形外科 笹川 武史(ささがわ たけし)他

B-4. 超高齢者の DISH に生じた椎体破裂骨折に対して MIST を施行した 1 例

市立砺波総合病院 整形外科 高木 泰孝(たかぎ やすたか)他

14:55～15:00

休 憩

15:00～15:45

一般演題 C

座長

戸川 大輔

C-1. OLIF における骨癒合の経過

高岡整志会病院 整形外科 澤田 利匡(さわだ としただ)他

C-2. 腰椎変性疾患に対するLIF 施行例における手術治療満足度の検討（同一術者が担当したTLIF 施行例との比較検討）

岐阜市民病院 整形外科 宮本 敬（みやもと けい）他

C-3. LLIF を用いた成人脊柱変形手術 -LLIF 椎間における前弯獲得因子の検討-

成田記念病院 整形外科 中井 慶一（なかい けいいち）他

C-4. 脊柱変形に伴う腰痛に対するLLIF の応用

三重大学大学院 医学系研究科 整形外科学 竹上 徳彦（たけがみ のりひこ）他

C-5. 骨脆弱性に起因する椎体骨折偽関節例に対するX-CORE®2VCR システムの経験

国立病院機構 豊橋医療センター 整形外科 八木 清（やぎ きよし）他

15:45～15:55 休 憩

15:55～16:55 特別講演

座長 水野 勝則

L-1. 骨粗鬆症性椎体骨折に対するMISt 治療戦略

東京慈恵医科大学付属第三病院 整形外科 篠原 光（しのはら あきら）

※日整会教育研修単位 資格継続単位 [4] 代謝性骨疾患（骨粗鬆症含む） [7] 脊椎脊髄疾患
脊椎脊髄病単位(SS)

16:55 次回研究会ご案内

戸川 大輔

17:00 優秀演題賞発表・閉会のご挨拶

水野 勝則

抄 録 集

Abstracts

特別講演

座長：福井総合病院 整形外科 水野 勝則先生

骨粗鬆症性椎体骨折に対する MIST 治療戦略

講師：東京慈恵医科大学付属第三病院 整形外科

篠原 光（しのはら あきら）先生

一般演題 A

A-1

後方経路椎体間固定におけるブーメラン型ケージ2個設置の試み

中原 誠之（なかはら まさゆき）1)、大久保 直規 1)、波多野 希 1)、浜田 佳孝 1)、稲熊 真理 1)

1) 北須磨病院 整形外科

ブーメラン型ケージは椎間腔前方設置により前弯獲得を可能とするが、設置位置によってはケージの沈みこみや矯正損失の発生が危惧される。椎体終板への圧負荷を分散させる目的にブーメラン型ケージを前後2つ設置し、ケージと椎体接触面積の向上を目指した MIS-TLIF の短期成績を報告する。

A-2

腰椎固定術後に脊柱変形が増悪し前後同時矯正固定術を施行した1例

小林 賢司（こばやし けんじ）1)、関 庄二 1)、和田 輝至 1)、川口 善治 1)、木村 友厚 1)

1) 富山大学附属病院 整形外科

症例 73 歳女性、腰椎変性側弯症に対し前医で TLIF、XLIF 施行されるも腰痛残存し、次第に姿勢異常増悪、歩行障害が出現したため当科紹介となった。OLIF を含めた前後同時固定術で良好な矯正と術後成績が得られたが、変形進行の原因について考察する。

A-3

術中一瞬で椎弓根スクリュー内側逸脱を見抜くレントゲン正面像の M Line

前嶋 竜八（まえじま りゅうや）1)、竹内 幹伸 1)、青山 正寛 1)、伊佐治 泰己 1)、上甲 眞宏 1)、

高安 正和 1)

1) 愛知医科大学脳神経外科

椎弓根スクリュー (PS) の脊柱管内内側逸脱を評価する方法としてレントゲン正面像における脊柱正中線 (M line) を提唱しその信頼性を後方視的に調査した。患者 145 人、PS599 本を対象に画像評価した。その結果、M Line 陽性 74.1%、特異度 94.8%であった。M line は PS 脊柱管内内側逸脱を術中に一瞬で見抜く簡便な方法であると考えられる。

A-4

経皮的椎弓根スクリュー（PPS）刺入時における逸脱例の検討

田村 嵩（たむら たかし） 1)、中野 正人 1)、藤田 雄介 1)、野上 重治 1)、小林 賢司 1)

1) 高岡市民病院 整形外科

経皮的椎弓根スクリュー（PPS）刺入後の逸脱症例について統計学的評価と文献的考察を加えた。対象は 62 症例、PPS376 例であり、術後 CT 画像を用いて評価を行った。骨粗鬆症の症例では有意に逸脱例が多い結果となった。

A-5

LIF 後方固定としての CBT 法の短期治療成績

大塚 聖視（おおつか せいじ） 1)、福岡 宗良 1)、水谷 潤 2)、鈴木 伸幸 1)、近藤 章 1)、

1) 名古屋市立大学 整形外科、2) 名古屋市立大学リハビリテーション科

当院では 2014 年から脊柱変形に対する変形矯正や狭窄症に対する間接的除圧効果を目的とし LIF を施行してきた。我々はその低侵襲性から Cortical bone trajectory(CBT)法を 2014 年 5 月から LIF の後方固定に併用しているのでその治療成績を報告する。

一般演題 B

B-1

頸椎片側椎間関節脱臼に対し経皮的整復を行った 1 例

清水 貴樹 (しみず たかき) 1)、吉岡 克人 1)、村上 英樹 1)、出村 諭 1)、土屋 弘行 1)

1) 金沢大学 整形外科

非観血的に整復不能な頸椎椎間関節脱臼に対しては、後方アプローチでの整復・固定が一般的と考えられるが、頸椎後方筋群への侵襲を伴う。今回、非観血的に整復不能であった頸椎片側椎間関節脱臼に対し、後方から経皮的操作を用いて低侵襲に整復し、前方固定を行った症例を報告する。

B-2

脊椎椎体骨折に対して **monoaxial PPS system** を用いて矯正固定術を施行した 1 例

林 寛之 (はやし ひろゆき) 1)、高木 泰孝 1)、山田 泰士 1)、江原 栄文 1)、木谷 聡 1)、豊岡 加朱 1)

1) 市立砺波総合病院 整形外科

局所後弯を呈した脊椎椎体骨折の 1 例に対して、**monoaxial PPS system** を用いた矯正固定術を施行した。従来までの **polyaxial PPS system** を用いるよりも容易に良好な後弯矯正が可能であった。

B-3

高エネルギー外傷に伴う胸腰椎椎体骨折に対する **MISt** による後方固定術の手術時期に関する検討

笹川 武史 (ささがわ たけし) 1)、丸箸 兆延 1)、橋本 典之 1)、上島 謙一 1)、船木 清伸 1)、香川 桂 1)

森永 整 1)、中村 琢哉 1)

1) 富山県立中央病院 整形外科

胸腰椎骨折（骨粗鬆症例は除く）に対して経皮的椎弓根スクリュー(PPS)による後方固定術を施行した症例を対象に早期手術群と待機手術群での手術時の出血量や入院期間などを比較し、適切な手術時期を検討した。

B-4

超高齢者の DISH に生じた椎体破裂骨折に対して MISt を施行した 1 例

高木 泰孝 (たかぎ やすたか) 1)、山田 泰士 1)、江原 栄文 1)、林 寛之 1)、木谷 聡 1)、豊岡 加朱 1)

1) 市立砺波総合病院 整形外科

95 歳、女性、DISH に生じた第 1 腰椎破裂骨折に対して MISt を施行した 1 例を経験したので報告する。

一般演題 C

C-1

OLIF における骨癒合の経過

澤田 利匡 (さわだ としただ) 1)、中野 恵介 1)、田中 利弘 1)、川岸 利光 1)

1) 高岡整志会病院 整形外科

当院では OLIF 法で 2014 年 1 月から 2015 年 4 月まで、前方 cage 内に自家腸骨を用いていたが、2015 年 5 月から人工骨 (β -TCP) を単独で用いている。今回各群での骨癒合の経過について報告する。

C-2

腰椎変性疾患に対する LIF 施行例における手術治療満足度の検討 (同一術者が担当した TLIF 施行例との比較検討)

宮本 敬 (みやもと けい) 1)、近藤 祐一 1)、清水 克時 1)、白井 之尋 1)、山本 孝敏 1)、後藤 篤史 1)、大塚 博巳 1)、大野 義幸 1)、佐々木 裕介 2)

1) 岐阜市民病院 整形外科、2) 岐阜市民病院 リハビリテーション科

2015 年 4 月以降、腰椎変性疾患に対し、LIF(XLIF, OLIF)を施行した症例について、手術治療満足度を調査し、患者立脚型アウトカムである JOABPEQ の結果との関連を検討した。また、同一術者が担当した TLIF 施行例との比較検討も行った。

C-3

LLIF を用いた成人脊柱変形手術 -LLIF 椎間における前弯獲得因子の検討-

中井 慶一 (なかい けいいち) 1)、大和 雄 2)、戸川 大輔 2)、松山 幸弘 2)

1) 成田記念病院 整形外科

2) 浜松医科大学 整形外科

成人脊柱変形手術において前弯の獲得は重要な課題である。今回、我々は LLIF を用いた二期的手術において LLIF を行った椎間の前弯獲得因子を検討した。術前に側弯がある椎間、回旋がある椎間で前弯がより獲得された。

C-4

脊柱変形に伴う腰痛に対する LLIF の応用

竹上 徳彦（たけがみ のりひこ） 1)、明田 浩司 1)、須藤 隆夫 1)、佐野 友彦 1)、須藤 啓広 1)

1) 三重大学大学院 医学系研究科 整形外科

脊柱変形は椎間板、椎間関節、傍脊柱筋に強い疼痛を誘発する症例がある。強い腰痛を認めるも脊柱管狭窄を伴わない変形側弯症 4 例に対して選択的に腰椎側方椎体間固定術を行い、著しい疼痛改善が得られたため、その治療成績および QOL 評価を報告する。

C-5

骨脆弱性に起因する椎体骨折偽関節例に対する X-CORE®2 VCR システムの経験

八木 清（やぎ きよし） 1)、水谷 潤 2)、柴田 康宏 1)

1) 国立病院機構 豊橋医療センター、2) 名古屋市立大学病院

82 歳女性、YAM 値 38%、既往にパーキンソン病、心疾患を持ち誤嚥性肺炎を繰り返している全身状態が良好とはいえない腰椎圧迫骨折偽関節例に対し、Xcore® 2 VCR システムを使用し低侵襲手術が可能であった症例を報告する。

ご協賛いただいた企業様

- 旭化成ファーマ株式会社
- アステラス製薬株式会社
- 株式会社アルファテック・パシフィック
- エーザイ株式会社
- 小野薬品工業株式会社
- 塩野義製薬株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 デピューションセス・スパイン事業部
- セントラルメディカル株式会社
- 第一三共株式会社
- 中外製薬株式会社
- 日本イーライリリー株式会社
- 株式会社日本エム・ディ・エム
- 日本ストライカー株式会社
- 日本臓器製薬株式会社
- ニューベイシブジャパン株式会社
- 久光製薬株式会社
- Hoya Technosurgical 株式会社
- メドトロニックソファモアダネック株式会社
- 持田製薬株式会社
- 株式会社ロバートリード商会

(五十音順)

ご協力いただき誠にありがとうございました



次世代をひらく——旭化成ファーマの医薬品

子供の笑顔は豊かな社会の象徴です。

「笑顔を絶やすことのないように、健やかに育ててほしい。」

親から子へ、子から孫へ、この願いはいつの世も共通のものです。

旭化成ファーマは今、生命に身近なライフサイエンスに積極的に力を注いでいます。

人々の願いを形に表わすために——旭化成ファーマの挑戦は続きます。

製造販売元
(資料請求先)

旭化成ファーマ株式会社

医薬情報部 くすり相談窓口

〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

☎ 0120-114-936 (9:00~17:45/土日祝、休業日を除く)

URL: <http://www.asahikasei-pharma.co.jp>

2013.09

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。

 **astellas**

アステラス製薬株式会社

www.astellas.com/jp/



hbc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病氣とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病氣を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準収載

サインバルタ® カプセル20mg
カプセル30mg

Cymbalta® デュロキセチン塩酸塩カプセル

創薬、処方箋医薬品^{※1)}
注1) 注意-医師等の処方箋により使用すること

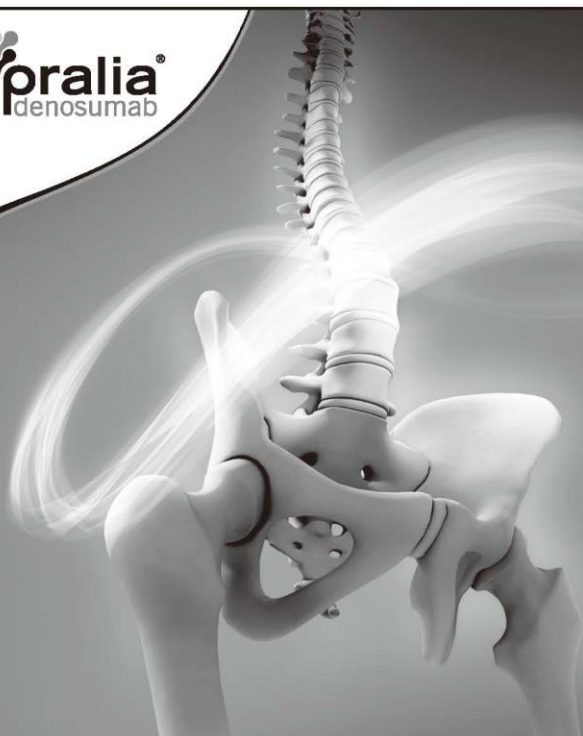
効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等
については、添付文書をご参照下さい。

®: 米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標



製造販売元 [資料請求先]
シオノギ製薬
大阪市中央区道修町 3-1-8
医薬情報センター ☎0120-956-734

CYM-KO-102A(C1)
審 H8137 2015年1月作成



薬価基準収載

ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤

プラリア® 皮下注60mg シリンジ

一般名 / デノスマブ(遺伝子組換え)

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品*

※注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)



第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

提携

AMGEN®

2015年4月作成



骨粗鬆症治療剤

劇薬 処方箋医薬品*

薬価基準収載

ボンビバ® 静注1mg シリンジ

Bonviva
ibandronate

イバンドロン酸ナトリウム水和物注
注) 注意—医師等の処方箋により使用すること



骨粗鬆症治療剤

劇薬 処方箋医薬品*

薬価基準収載

ボンビバ® 錠100mg

Bonviva
ibandronate

イバンドロン酸ナトリウム水和物錠
注) 注意—医師等の処方箋により使用すること



「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」などについては添付文書をご参照ください。



発売 [資料請求先]

大正富山医薬品株式会社

〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

お問い合わせ先: ☎0120-591-818

メディカルインフォメーションセンター

製造販売元



中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

ロシュグループ

【資料請求先】メディカルインフォメーション部
TEL.0120-189706 FAX.0120-189705

® F. Hoffmann - La Roche社(スイス)登録商標

2017年5月作成

Lilly



フォルテオ®

皮下注キット600 μ g

テリパラチド(遺伝子組換え)注射剤

—— 骨粗鬆症治療剤 ——

処方箋医薬品 薬価基準収載

(注意-医師等の処方箋により使用すること)

「効能・効果」、「用法・用量」、
「禁忌を含む使用上の注意」等に
ついては添付文書をご参照ください。

<資料請求先>

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086 神戸市中央区通上道7丁目1番6号

FRT-A042(R2)
2015年2月作成

医療用品 4 整形用品 高度管理医療機器 JMDNコード35895200

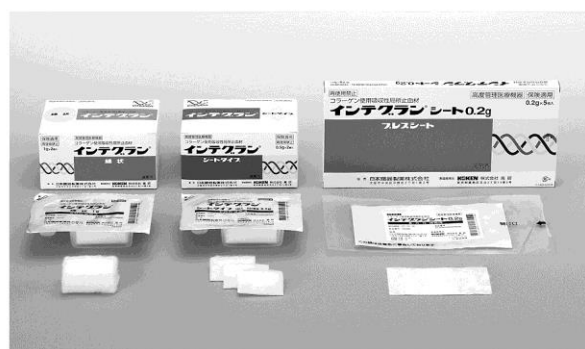
コラーゲン使用吸収性局所止血材 保険適用

インテグラン®

綿 状

シートタイプ

シート0.2g



●【使用目的・効能又は効果】、【操作方法又は使用方法等】、
【警告、禁忌を含む使用上の注意等】につきましては
添付文書をご参照下さい。

日本臓器製薬

〒641-0046 大阪府中央区平野町2丁目1番2号 ☎06-6203-0441

資料請求先：日本臓器製薬株式会社 学術部

2011年10月作成

Hisamitsu.



極度鎮痛消炎剤

【新薬基準収載】

モーラス・パップXR120mg

MOHRUS.PAP XR120mg

ケトプロフェン2%

【新薬基準収載】

モーラス・パップXR240mg

MOHRUS.PAP XR240mg

ケトプロフェン2%



●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については
製品添付文書をご参照ください。

製造販売元：◆ **久光製薬株式会社**

〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408番地

資料請求先：学術部 お客様相談室

フリーダイヤル 0120-381332 FAX (03) 5293-1723

2017年2月作成



慢性疼痛/抜歯後疼痛治療剤

創薬 処方箋医薬品*



トラムセット® 配合錠

Tramcet® Combination Tablets

トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠

薬価基準収載

*注意—医師等の処方箋により使用すること



製造販売元（資料請求先）

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

www.janssen.com/japan

www.janssenpro.jp（医薬品情報）

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を
含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する
使用上の注意」、「用法・用量に関連する
使用上の注意」等については、添付文書をご
参照ください。



販売（資料請求先）

持田製薬株式会社

東京都新宿区四谷1丁目7番地

TEL 0120-189-522（くすり相談窓口）

©Janssen Pharmaceutical K.K.2014-2017

2017年7月作成（N6）



CALIBER

CFR-PEEK CAGE



✓ 日本人向けにスモールサイズを充実させた
サイズバリエーション

✓ 皮質骨と近似した弾性係数

(素材である PEEK-OPTIMA は、皮質骨に近似した弾性係数を有しているため、
チタン製ケージ等と比べ椎体終板界面での沈み込みが起こりにくくなります。)

販売名 CFR PEEK ケージ
承認番号 22100BZX00916000

第1種医療機器製造販売業者

R ROBERT REID INC.

株式会社ロバート・リード商会
〒112-0002
東京都文京区小石川 4-22-2 小石川 4 丁目ビル
TEL : 03-3830-7373 FAX : 03-3830-7376



未来へ駆ける。

人との繋がりを大切にしながら、
わたしたちは、走り続けます。



セントラル メディカルグループ

医療機器総合商社

セントラルメディカル株式会社

本社

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(262)1111代 FAX.076(223)7255
金沢支店・富山支店・福井支店

<http://www.centralmedical.co.jp/>

福祉用具レンタル・販売

株式会社メディベック

本社

〒920-0024 石川県金沢市西念3丁目1番5号
TEL.076(224)5600代 FAX.076(224)6116
金沢営業所・富山営業所・福井営業所



第8回中部 MIST 研究会 プログラム・抄録集

2017年9月1日発行

発行：中部 MIST 研究会事務局

〒464-0821 名古屋市千種区末盛通 2-4

医療法人蜂友会 はちや整形外科病院内

TEL:052-751-8197 FAX:052-751-8169